苦労すらも打ち消す山西省の魅力

氏家千夏

山西大学での留学が始まってから約２カ月が経過しました。季節も気付けば夏から秋へ移り変わり、最近ではもうすっかり冬のようです。日中の気温は 10 度前後で、日当たりのいい場所ではそれほど寒さを感じることはありませんが、朝晩は冷え込むことが多く、気温が 0 度を下回ることもよくあります。この 10 月だけでも季節がガラッと変わったように感じます。

この 10 月を通して最も辛かったことを挙げるとすれば、一番始めに頭に浮かぶのはシャワーのお湯問題です。山西省に来る前に過去の奨学生の方から、お湯が出ないことがたまにあるということをお聞きしてはいたのですが、その頻度は私の想定を大きく超えるものでした。1 カ月に 1 度あるかないかだろうと思っていたのですが、普段は週に１回程度、ひどい時は週の半分ほどはお湯が出ません。お湯が出ないというのにもレベルがあり、調子のいい時はぬるま湯、調子の悪い時は冷水です。９月中は気温もまだ高く、シャワーの水が冷水になることもなかったので、ぬるま湯でもそれほど気にすることなく使用できましたが、気温が一気に下がり始めた 10 月は辛いと感じることも多く、温かいお湯でシャワーを浴びられることがどれほど幸せなことか、と考えるようになりました。

こんなことを書いてしまうと、山西省に対して負のイメージを持たれてしまうかもしれませんが、私はこの 10 月を通して、山西省には魅力がたくさんあるなと思うようになりました。大学生活にも慣れてきたことで気持ちに余裕が生まれ、大学近くのショッピングモールなどではなく、まだ訪れたことのない場所に行ってみたいと思い、授業のない週末を利用して山西博物院や普中公園などに行き、さらには山西省で知り合った韓国人の友人と二人で大同市を旅行しました。

日本語の「博物館」を表す中国語は一般的に「博物館」ですが、山西省太原市には「山西博物院」という博物館があります。「博物院」は、特に規模が大きく歴史的重要度の高い博物館のことを指すそうです。この博物館には山西省にまつわる展示が数多くあり、山西省の歴史や魅力を一気に知ることができる場所だったので、もっと早く訪れていれば展示を基に実際にその場所に行ってみることができたのに、と後悔しました。次の奨学生の方には、ぜひ山西省に到着したらすぐに山西博物院に行ってみることをお勧めします！きっと山西省での留学生活がもっと充実したものになると思います。

博物館での展示を受けて決定したのが大同市への旅行です。大同市はかつて

北魏の首都が置かれた歴史のある古都です。私は実際に雲岡石窟と懸空寺を訪れました。雲岡石窟は５世紀後半の北魏時代に造営され、仏像の数は 5 万体以上にもなり、2001 年にはユネスコ世界遺産にも選ばれています。懸空寺も北魏末期に造営されたとされ、国の重要文化財の一つです。雲岡石窟では、迫力のある巨大な仏像、そして壁一面を埋め尽くすような精巧な彫刻に感動しました。懸空寺では、あまりの断崖絶壁ぶりとそんな場所に 1500 年以上も佇み続けていることに驚きました。感動と驚きで、どちらの場所でも開いた口が塞がりませんでした。どちらも中心部から離れており、ネット情報も少ないため、実際に行ってみるまで全貌が分からないという難しさはありましたが、ここでの感動は実際に訪れてみないと得られないものだと思います。時間の関係で私はこの 2 か所しか訪れることができなかったのですが、大同市にはその他にも重要な観光地が多くあります。日本から直接行くには難易度が少し高いかもしれませんが、上海や北京などとはまた違った中国の魅力を知ることができると思うので、興味のある方にはぜひ挑戦してみていただきたいです！

山西省での留学も残り１カ月ほどです。山西省に来たばかりの頃に比べると、リスニング力が格段に伸びたように感じます。山西省は方言が比較的強く、地元の方と話す際に難しさを感じることが多かったのですが、今ではタクシーの運転手さんの言葉も聞き取れるようになり、移動中に雑談をすることも増えました。一方で、スピーキングに関してはまだまだ自信がなく、どのように伝えたらいいか分からなく困ってしまう時も多いので、残りの１カ月で少しでも実力を伸ばせるように頑張りたいです。



←大学内も秋らしくなり紅葉がとても綺麗です。すっきりとした青空の日が多く、紅葉を見ながら校内を歩いているだけでも満たされた気持ちになります。山西省に来てから２カ月しか経っていませんが、きっと秋が一年の中で一番綺麗な季節だと思います。



←最近はこれまで行っていなかった大学内のもう一つの食堂も利用するようになりました。寮の近くの食堂よりも美味しいという話は聞いていたのですが、実際に利用してみると、料理の種類も充実していて、味のレベルもかなり高いように感じました！





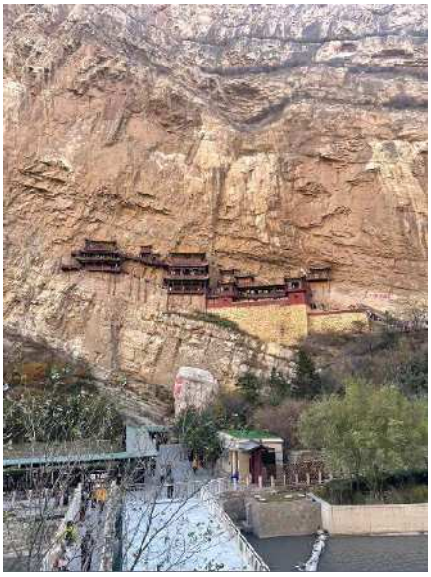
↑大学内とその付近には大量の猫がいます。寮の入り口にも３匹常駐していて、一日で５匹は毎日必ず目にします。右の写真はドリンク屋さんで出来上がりを待っている時のものです。ただ座って待っていただけだったのですが、突然猫が私の膝に乗って寝始めました。あまりの可愛さに離れがたく、後ろ髪を引かれる思いでお別れをしたのですが、次の瞬間には別の人の膝に乗っていました。どうやら私のことが好きなのではなく、ただ単に寒くて暖を取りたかっただけのようです…　時々こんなふうに傷つくこともありますが、猫好きには天国のような世界です。





↑大同旅行で訪れた雲岡石窟です。近くにいた中国の方々が全員、仏像と手を合わせるようなポーズで写真を撮っていたので真似してみました。仏像の迫力もすごいですが、私は壁の彫刻の精巧さに特に感動しました。写真だと少し見にくいですが、驚くほど細やかな彫刻が壁一面に広がっています。皆さんにもぜひ実際に見ていただきたいです！





↑こちらも大同市の懸空寺の写真です。左の写真を見ていただくと分かりやすいかもしれませんが、本当に断崖絶壁の場所にぽつんと建物があります。穴を掘った岩壁に木材を深く差し込み土台を作り、その上に建物を組み上げるというやり方で造営されたそうです。谷間のくぼんだ部分にすっぽり収まるように建てられているため、雨風や直射日光から建物が守られているそうですが、1500 年以上前にすでにその技術や知識があったということが本当にすごいなと思います。実際に建物の中に入って見学することもできます！